

宜 議 第 3 4 2 号  
平成30年9月26日

議長  
大城 政利 殿

福祉教育常任委員会  
委員長 比嘉 憲康

委員会審査結果について（報告）

閉会中において、本委員会に付託された案件の審査を終了いたしましたので、各案件の報告書及び会議録の写しを添えて、委員会条例第29条の規定により、その結果を報告いたします。

1. 委員会活動

| 期 間<br>期 日     | 会 議<br>月 日     | 備 考  |
|----------------|----------------|--|
| 平成30年<br>6月13日 | 平成30年<br>6月13日 | 議案第43号   |
| 平成30年<br>6月14日 | 平成30年<br>6月14日 | 陳情第91号、議案第43号、陳情第37号、<br>陳情第41号、陳情第47号、陳情第57号、<br>陳情第58号、陳情第61号、陳情第62号、<br>陳情第63号、陳情第64号、陳情第65号、<br>陳情第67号、陳情第68号、陳情第78号、<br>陳情第79号、陳情第80号、陳情第81号、<br>陳情第82号 |
| 会議日数<br>2日間    |                |  |

事件一覧及びその結果

| 議案番号   | 件名   | 付託月日           | 議決月日           | 結果             |
|--------|--|----------------|----------------|----------------|
| 議案第43号 | 宜野湾市こども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について                       | 平成30年<br>6月12日 | 平成30年<br>6月14日 | 原案可決<br>(全会一致) |
| 陳情第37号 | 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情      | 平成28年<br>3月2日  | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第41号 | 障害者差別解消法の施行にあたっての要請                                    | 平成28年<br>6月14日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第47号 | 障害者関連施策について  | 平成28年<br>9月6日  | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第57号 | 子ども・子育て支援新制度に関する陳情                                     | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第58号 | 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書について                       | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第61号 | 子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情                         | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第62号 | 貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める陳情                             | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第63号 | 「無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める陳情                  | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第64号 | 介護保険制度の見直しに対する陳情                                       | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第65号 | 「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める陳情 | 平成28年<br>12月6日 | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第67号 | 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情                        | 平成29年<br>3月1日  | —              | 閉会中の<br>継続審査   |
| 陳情第68号 | 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情                          | 平成29年<br>3月1日  | —              | 閉会中の<br>継続審査   |

|             |   |                |   |              |
|-------------|---|----------------|---|--------------|
| 陳 情<br>第78号 | 国保県単位化における国保制度改善を求める意見書採択についての陳情                                | 平成29年<br>12月7日 | — | 閉会中の<br>継続審査 |
| 陳 情<br>第79号 | 平成30年度福祉施策及び予算の充実について   | 平成29年<br>12月7日 | — | 閉会中の<br>継続審査 |
| 陳 情<br>第80号 | 子どもたちの未来を守るための施策を求める要請  | 平成29年<br>12月7日 | — | 閉会中の<br>継続審査 |
| 陳 情<br>第81号 | 現物給付の導入と対象年齢拡大など子どもの医療費助成制度改善のための意見書採択についての陳情                   | 平成29年<br>12月7日 | — | 閉会中の<br>継続審査 |
| 陳 情<br>第82号 | 介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善をすすめ国の責任で介護報酬など財源の確保を求める陳情 | 平成29年<br>12月7日 | — | 閉会中の<br>継続審査 |
| 陳 情<br>第91号 | 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情                  | 平成30年<br>6月12日 |   | 閉会中の<br>継続審査 |

## 福祉教育常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成30年6月13日（水）1日目

午前 2時00分 開会

午後 2時45分 散会

○場 所 第1常任委員会室

○出席委員（8名）

|     |        |
|-----|--------|
| 委員長 | 比嘉 憲康  |
| 委員  | 宮城 勝子  |
| 委員  | 玉城 健一郎 |
| 委員  | 山城 康弘  |

|      |       |
|------|-------|
| 副委員長 | 岸本 一徳 |
| 委員   | 島 勝政  |
| 委員   | 桃原 朗  |
| 委員   | 屋良千枝美 |

○欠席委員（0名）

○説明員（3名）

|                |        |
|----------------|--------|
| 福祉推進部長         | 真喜志 若子 |
| 児童家庭課<br>手当一係長 | 宮城 周作  |

|             |       |
|-------------|-------|
| 児童家庭課<br>課長 | 宮城 葉子 |
|-------------|-------|

○議会事務局職員出席者

|     |       |
|-----|-------|
| 主 事 | 棚原 裕貴 |
|-----|-------|

○審査順序

議案第43号 宜野湾市こども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

## 6月定例会（福祉教育常任委員会）

平成30年6月13日（水）第1日目

- 比嘉憲康 委員長 ただいまから福祉教育常任委員会を開会いたします。  
(開会時刻 午後2時00分)

### 【議題】

議案第43号 宜野湾市こども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

### ～質疑・答弁～

- 島勝政 委員 これまでこども医療費の現物給付ができなかった理由を伺いたい。
- 児童家庭課長 国民健康保険の交付金にペナルティーが科されるため導入できなかった。
- 島勝政 委員 国民健康保険の交付金のペナルティーはなくなったのか。
- 児童家庭課長 未就学児に対する医療費の現物給付については平成30年4月からペナルティーが撤廃された。
- 島勝政 委員 現物給付を取り入れることにより、財政が圧迫されるという事態も起こり得るのか。
- 児童家庭課長 窓口での医療費負担がなくなり通院しやすい状況となるため、医療費の増加が予想される。
- 玉城健一郎 委員 県は、現物給付を導入することで医療費が1.3倍増加するという試算を出しているが、本市よりも先行して現物給付を取り入れている南風原町の医療費はどのように推移しているか。
- 児童家庭課長 南風原町は平成29年1月から現物給付を行っており、医療費は実施前の1.2倍に増加していると伺っている。
- 岸本一徳 副委員長 南風原町では医療費が1.2倍増加したという結果が出ているが、本市の場合どのくらい増加するという試算は出しているのか。
- 手当一係長 現物給付がスタートして、市民の認知度が高まるまでに約1～2年ほどかかると想定しており、現時点で試算はできないが、県の試算や南風原町の実績に大きな差はないため、本市でも1.2～1.3倍程度の増加率になると考えている。
- 岸本一徳 副委員長 県の交付要綱が改正され、自己負担金の半分が補助対象となったが、財政にどのような影響があるか。
- 手当一係長 これまで県の補助対象外となっていた分を市が単費で補助していたが、その半分以上を県が補助することになった。試算したところ、減少額は約1,750万円となる見込みである。

- 岸本一徳 副委員長 医療費を中学生まで無料化した場合、市の負担はどれくらいふえるのか。
- 児童家庭課長 1学年で年間約530万円の負担増となる見込みであり、中学3年生まで無料化すると、約1,500万円の負担増となる。
- 岸本一徳 副委員長 現物給付を行う利点は何か。
- 手当一係長 現物給付を行うことにより子供の通院頻度を活性化させて、病気の早期発見や重症化を防止できる。また自己負担がないため、経済的に厳しい家庭でも、すぐに通院できるという利点がある。
- 岸本一徳 副委員長 現物給付開始の市民への周知方法について伺いたい。
- 手当一係長 0～6歳の児童が約8,000人おり、対象者については新たな受給者証を送付して周知を行う予定である。
- 岸本一徳 副委員長 浦添総合病院が自動償還払いに対応していない理由を伺いたい。
- 手当一係長 県からは、小児科がないので自動償還払いを行うメリットがないという病院側の判断で実施していないと伺っている。
- 玉城健一郎 委員 小学生の一部自己負担額が1,000円というのは条例等に明記されているのか。
- 手当一係長 明記されていない。
- 玉城健一郎 委員 一部自己負担額を1,000円と決定した理由を伺いたい。
- 手当一係長 部内で協議し、市の財政負担を考慮すると1,000円が妥当であるという結果に至った。
- 岸本一徳 副委員長 国の方針として、国民健康保険の交付金のペナルティー廃止の範囲を今より拡大するという考えはあるのか。
- 手当一係長 ペナルティーを廃止し現物給付を行うことで医療費が約1.2～1.3倍増加すると予測されており、国も様子を見ながら段階的に範囲を広げるものと思われる。

### 【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

- 
- 比嘉憲康 委員長 本日の委員会を散会いたします。（散会時刻：午後2時45分）

## 福祉教育常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成30年6月14日（木）2日目

午前10時00分 開議

午前10時45分 閉会

○場 所 第1常任委員会室

○出席委員（8名）

|     |        |
|-----|--------|
| 委員長 | 比嘉 憲康  |
| 委員  | 屋良 千枝美 |
| 委員  | 宮城 勝子  |
| 委員  | 玉城 健一郎 |

|      |       |
|------|-------|
| 副委員長 | 岸本 一徳 |
| 委員   | 島 勝政  |
| 委員   | 桃原 朗  |
| 委員   | 山城 康弘 |

○欠席委員（0名）

○説明員（0名）

○議会事務局職員出席者

|     |       |
|-----|-------|
| 主 事 | 柵原 裕貴 |
|-----|-------|

○審査順序

陳情第91号 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情

議案第43号 宜野湾市こども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

陳情第37号 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その他危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

陳情第41号 障害者差別解消法の施行にあたっての要請

陳情第47号 障害者関連施策について

陳情第57号 子ども・子育て支援新制度に関する陳情

陳情第58号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書について

陳情第61号 子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情

陳情第62号 貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める陳情

陳情第63号 「無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める陳情

- 陳情第64号 介護保険制度の見直しに対する陳情
- 陳情第65号 「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める陳情
- 陳情第67号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情
- 陳情第68号 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情
- 陳情第78号 国保県単位化における国保制度改善を求める意見書採択についての陳情
- 陳情第79号 平成30年度福祉施策及び予算の充実について
- 陳情第80号 子どもたちの未来を守るための施策を求める要請
- 陳情第81号 現物支給の導入と対象年齢拡大など子どもの医療費助成制度改善のための意見書採択についての陳情
- 陳情第82号 介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を進め国の責任で介護報酬など財源の確保を求める陳情

## 6月定例会（福祉教育常任委員会）

平成30年6月14日（木）第2日目

○比嘉憲康 委員長 福祉教育常任委員会の第2日目の会議を開きます。

（開議時刻 午前10時00分）

---

### 【議題】

陳情第91号 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情

※事務局より陳情書を読み上げる

### ～議員間討議～

- 岸本一徳 副委員長 後期高齢者の窓口負担割合の見直しは確定したことでないので、意見書を出すことについては慎重に判断したほうがよいのではないかと考える。
- 玉城健一郎 委員 以前、福祉教育常任委員会でこども医療費についての意見書を提案した際も、まだ確定していない状況であったので、今回も大丈夫ではないかと考える。
- 屋良千枝美 委員 医療費の自己負担が2割になると、高齢者にとって大きな負担になるので、ぜひ意見書を提出するべきと考える。
- 岸本一徳 副委員長 実際に医療費の自己負担が2割となった場合、本市の被保険者にどの程度の影響が出るのか予測されていない中で意見書の提案は時期尚早であるかと考える。影響がはっきりした場合に提案を検討したほうがよいのではないかと考える。
- 島勝政 委員 今の段階では判断が難しいと考える。
- 玉城健一郎 委員 判断が難しいということは不確定要素が多いからかと考える。
- 岸本一徳 副委員長 まだ制度改正の有無も不明な状況で意見書を提案することは議論の芽を摘んでしまう可能性も考えられる。陳情書に記載のある諮問会議において方向性が決定された後に検討してもよいのではないかと考える。
- 桃原朗 委員 県内他市の動向も確認しながら慎重に判断したほうがよいと考える。

### 【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

---

○比嘉憲康 委員長 休憩いたします。（午前10時37分）

○比嘉憲康 委員長 再開いたします。（午前10時37分）

---

**【議題】**

議案第43号 宜野湾市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

**【質疑終結】**

**【討論】**

なし。

**【審査結果】**

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決する。

---

**【議題】**

陳情第37号 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

陳情第41号 障害者差別解消法の施行にあたっての要請

陳情第47号 障害者関連施策について

陳情第57号 子ども・子育て支援新制度に関する陳情

陳情第58号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書について

陳情第61号 子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情

陳情第62号 貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める陳情

陳情第63号 「無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める陳情

陳情第64号 介護保険制度の見直しに対する陳情

陳情第65号 「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める陳情

陳情第67号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

陳情第68号 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情

陳情第78号 国保県単位化における国保制度改善を求める意見書採択についての陳情

陳情第79号 平成30年度福祉施策及び予算の充実について

陳情第80号 子どもたちの未来を守るための施策を求める要請

陳情第81号 現物支給の導入と対象年齢拡大など子どもの医療費助成制度改善のための意見書採択についての陳情

陳情第82号 介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を進め国の責任で介護報酬など財源の確保を求める陳情

陳情第91号 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情

**【閉会中の継続審査申出】**

上記18件について、閉会中もなお継続審査を要するため議長に申し出ることに決した。

---

○比嘉憲康 委員長 本委員会を閉会いたします。 （閉会時刻 午前10時45分）